

多発する特殊詐欺に注意

電話が使えなくなる？

知らない番号や非通知からの電話に出ると、音声ガイダンスで「2時間後に電話が使えなくなります。オペレーターと話す方は1を」という不審電話の相談が増えていきます。中には、オペレーターに「住所・名前・生年月日を教えて下さい」と言われたなど、個人情報盗み取ろうとするケースも発生しており注意が必要です。このような電話はニセ電話詐欺なので、個人情報を伝えないでください。また、公的機関や電話会社が音声ガイダンスで電話を停止する連絡をすることはありません。電話がかかってきた場合はすぐに電話を切りましょう。

パスワードの使いまわし

通販サイトから注文した覚えのない商品が次々届いたという相談が寄せられています。原因の1つにメールアドレスやパスワードの使いまわしが考えられます。これらを使いまわしていると、個人情報流出した際、他のサイトでも第三者がログインし、勝手に商品を購入されるなど被害に遭う危険性があります。複数の通販サイトを利用する場合は、サイトごとにメールアドレスとパスワードを設定しましょう。



市民課消費生活センター ☎22-9122

—地域でいきいき— 通いの場 特別編

長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) ☎22-9133

「生涯現役応援セミナー」×「住民主体の通いの場交流会」

1月17日に平戸文化センターで、ながさき県民大学連携講座「生涯現役応援セミナー」と「住民主体の通いの場交流会」を共同で開催し、約200人が参加しました。

参加者全員で、(株)eエクササイズ(松浦亜紀子代表)が普及・啓発に取り組んでいる筋力運動を実践したほか、特徴的な取り組みを実践する団体の事例発表などを通じて、健康づくりや介護予防の大切さについて学びました。

また、全ての団体設立に尽力した、平戸市介護予防インストラクターの小北ゆり子さんに感謝状を贈呈し、平成26年から活動を継続している3団体に記念品を送りました。



1_感謝状を受け取る小北ゆり子さん/2_パネルディスカッションで事例発表する皆さん/3~5_10年間継続して活動している3団体(3_上大垣のぼそう会/4_たくしま大楽/5_職人町こやかサロン/6_参加者全員でのがんばろうコール

2月のオレンジカフェ日程表

※参加料がかかる場合があります。

平戸市内各地域でオレンジカフェを開設しています。内容は、脳トレ、認知症予防講話、情報交換、茶話会、専門職相談など、事業所ごとに異なります。参加する際は、下表の連絡先に事前にご連絡ください。

名称	とき	ところ	連絡先
認知症予防カフェ「とかじん」	2月23日(日・祝) 10:00~12:00	デイサービスセンターとかじん(岩の上町)	デイサービスセンターとかじん(☎23-3388)
介護予防カフェ「毎快Deカフェ」	2月8日(土) 9:00~11:00	木引田介護スクエア内(木引田町)	リハビリ特化型通所介護毎快(☎22-7154)
介護予防カフェ「よろうで喫茶」	2月18日(火) 10:15~12:00	平戸市社会福祉センター(岩の上町)	平戸市社会福祉協議会(☎22-2180)
認知症予防カフェ「およりよ」	2月22日(土) 10:00~11:30	ホープドリーム(職人町)	地域包括支援センター(☎22-9132)
介護予防カフェ「えつなん」	2月9日(日) 10:00~11:30	平戸荘デイサービスセンター(紐差町)	代表 濱田(☎090-3850-8153)
認カフェ「いなほ」	連絡先へお尋ねください。	和く話く交流館(生月町)	いなほグループ(☎53-3012)
介護予防カフェ「ゆ〜らり」	2月19日(水) 10:30~12:00	生月高齢者生活福祉センター(生月町)	平戸市社会福祉協議会生月支所(☎53-2615)
介護予防カフェ「ふれあいカフェ」	2月13日(木) 14:00~16:00	大島高齢者生活福祉センター(大島村)	平戸市社会福祉協議会大島支所(☎55-2100)
介護予防カフェ「ニコニコ」	2月6日(木) 13:30~15:00	平戸市福祉保健センター(田平町)	平戸市社会福祉協議会田平支所(☎57-2223)
介護予防「ふれあいカフェ」	2月19日(水) 10:00~11:30	南地区交流センター(田平町)	田平まちづくり協議会(☎29-9008)

国際交流員
の日記

岩の上のヨーシェ

vol.9

日本語？オランダ語？

オランダの母国語は、英語ではなくオランダ語です。そしてオランダは英語を母国語としていない国の中では、世界トップの英語力です。そのため、オランダに来る外国人は、発音が難しいオランダ語をなかなか学習しません。日本人にとっても、オランダ語はとても難しい言語です。しかし、日本の皆さんは、知らない間にオランダ語を話しています！

朝ごはんの時の「コーヒー」、学校に行く時の「ランドセル」、お酒を飲む時の「ビール」という言葉も全部オランダから来ていて、毎日のように使う日本語の言葉になっています。おもしろいですね。江戸時代からオランダと日

本はずっと交流がありました。その時代に、オランダを通じて日本に入ってきたヨーロッパの学問・文化・技術の総称は全部オランダ語の本などに書いてありました。そのため、「蘭学」は大事なものになりました。医学(メス、ギプス)や船(マスト、ドック、コンパス)に関する言葉だけではなく、「モルズ」、「オルゴール」などもオランダ語なんですよ！



国際交流員
ジョセフィネ・スミット
(オランダ出身)



松浦家第34代松浦清(静山)がオランダの書籍の題名を自らオランダ語で書いたもの
提供：松浦史料博物館